

庭野平和財団 NPF プログラム 2023 年度報告書

2024 年 4 月 26 日

コモンズの共有資産として活用する「寺院所有アセット」モデル PJ チーム

代表 大河内秀人

事業名 : コモンズの共有資産として活用する「寺院所有アセット」モデル PJ

1, 活動の目的

大河内秀人氏が住職を務める寿光院(江戸川区)と見樹院(文京区)は、約 30 年という長期間にわたって、寺院が所有する土地や建物を多くの公益的活動を行う市民団体等に提供してきた。提供方法は、無料貸与、賃貸、長期間にわたる借地など様々な契約形態となっている。現在アセットを活用している活動は、高齢者住宅、障がい者グループホーム、経済的に十分でない方のシェアハウス、環境 NPO、国際 NGO のオフィス、市民団体のシェアオフィスなど多数に渡る。寺院施設自体も、子ども食堂をはじめ NGO・市民団体・地域団体の学習会・キャンペーンイベントのために積極的に提供している。

その蓄積は、地域社会における市民によるコモンズ(資源の共同利用エリア)として、またそこで培われてきた多様な市民活動は多様な社会サービスや専門的な知見ネットワークとして、目には見えない有機的な関係性を自ら生み出し続けている。

これらは大変貴重な取り組みだが、個々の市民活動とそれに対する寺院側の社会貢献活動(布施行)によって生まれたものが長年の間に積み重なり、それ以上の価値を生み出してきた側面が大きく、仕組みとして確立されたものではない。

このプロジェクトでは、寺院の持つ特殊性(100 年単位で活動を考えることができ、共益的な活動が地域で長く共感されてきた実績)を鑑みながら、今後も長く現在の良い状況が成長し続けるための「仕組み化」を行う。「仕組み化」においては、全体をコーディネートし継続を担保する団体を新設することを想定している。また「仕組み化」が出来た段階で、日本各地の類似の状況における一つの持続可能な社会モデルとしてそれを提案する。

活動は 3 年間で予定し、今回はその 2 年目(第 2 期)に対してご支援をいただいた。

2, PJ メンバーと第 1 期活動概要

【PJ メンバー】

大河内 秀人(見樹院、寿光院) *PJ 代表

奥田 裕之(大学講師、NPO 団体役員) *PJ コーディネート

青木 沙織(江戸川子どもおんぶず)、井筒 千春(デザイナー)、小池 達也(よだか総研)、

奈良 由貴(小松川市民ファーム、未来バンク) *オブザーバー;大河内 秀丸(見樹院)

*ご協力 仲野 省吾 様(庭野平和財団)

【第1期(2022年6月～2023年3月)活動概要】

1) 調査活動(30年間の社会的アセット活用等)及び資料作成

- ・ 大河内住職インタビュー
- ・ アセット活用団体等ヒアリング

NPO 法人ほっとコミュニティえどがわ、NPO 法人足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ、認定 NPO 法人シェア＝国際保健協力市民の会、NPO 法人愛菜会、NPO 法人ことのはサポート、ばんびーの EST、トム・エルキルセン氏、NPO 法人ジュレー・ラダック、アーユス 仏教国際協力ネットワーク)

- ・ 以上を活用して 30 年間の社会的アセット活用の歴史と、現在の状況についての資料を作成

2) 関係事項に関するヒアリング(①宗教と市民活動、②非営利アセットマネジメントと法人格)

①石井研士氏(國學院大学教授)、ジョン・ワッツ氏(INEB)、稲場圭信氏(大阪大学教授)

②濱口博史氏(弁護士)

3) アセットマネジメントに関する実態調査

- ・ 寿光院、見樹院が所有し、社会活用を行っている全アセットの現在の状況、契約関係についての調査

4) 新団体及びコモンズモデルについての検討

- ・ 継続的な仕組みにしていくための団体の在り方、その団体を基盤にしたコモンズモデルについての検討

3, 第2期活動の実施経過と内容

1) 会議の開催(毎月実施、オンライン)

■ PJ 会議

開催日; 4月20日、5月25日、6月27日、7月25日、8月30日、9月28日、
10月24日、11月30日、12月26日、1月23日、2月26日、3月28日

2) 調査・検討活動

■ ビッグピクチャー・理念の検討

今回のプロジェクトでは、市民活動の価値観、普遍性を持った宗教的価値観、社会的事業としての価値観など、複数の視点を内在させることが必要である。また、地域や価値に基づく「コモンズ」を、設立する新団体を起点として寺院、複数の NPO、市民等とともに創りあげることを目指している。そのイメージや具体的内容について第1期に行った調査活動と下記の追加調査をもとに議論を重ね、全体像の作成を行った。

■ 理念と事業モデルに関する追加調査

1. 現代仏教の社会倫理に関する研究会」参加 5月15日(月)

基調講演; 島藺進氏(東京大学名誉教授)を受け、研究会関係者との対話を行った。

2. コミュニティ財団に関するヒアリング 6月26日

世田谷コミュニティ財団の市川氏に、コミュニティ財団設立時の議論と現在の状況、PJ へのアドバイスについてお聞きした。

3. 江戸川茶話会でのヒアリング 7 月 11 日

NPO 法人ほっとコミュニティえどがわ、NPO 法人足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわのメンバーをお迎えして、PJ で議論している内容についてのご意見と新団体とのかかわりの可能性等についてお聞きした。

4. 川北秀人氏ご相談 7 月 31 日、8 月 1 日

NPF プログラム助成小委員会委員長を務める川北秀人氏に、PJ についてのアドバイスをいただいた。7 月 31 日は江戸川区の現地訪問、8 月 1 日は事前質問に基づいたアドバイスのご提供と意見交換を行った。

■ 適切な法人格に関する調査と検討

非営利でアセット活用を行うために適した法人格について、下記のヒアリングを重ねながら検討し、最終的に公益財団法人を目指すことを決定した。

1. 庭野平和財団ご相談 11 月 30 日

庭野平和財団事務局長の廣中誠司氏に公益財団法人の設立における課題、宗教活動と公益活動との区分などについてアドバイスをいただいた。

2. 出口正之氏ご相談 12 月 6 日

元内閣公益認定委員会委員、大阪府公益認定委員会委員ほかを務める出口正之氏に、PJ で採用すべき適切な法人格に対するアドバイスをいただくとともに、2024 年度国会で議論される予定の公益法人法改正の方向性についてお聞きした。

3. 公益支援協会ご相談 2024 年 2 月 27 日

公益財団法人として新団体を設立することの可能性と課題等について、公益支援協会の千賀理事長、井上研究室長、久留美相談部部長、山本研究員にご相談し、アドバイスをいただいた。

■ 寺院所有のアセットの非営利活用における事業性の検討

寺院が所有するアセットの公益的マネジメントと、その事業可能性について検討した。想定している公益財団法人における事業モデルと収益性について、今後具体的検討をしていく。

1. 寺院所有のアセットの別団体による社会活用の現実性調査 6 月 5 日

見樹院、寿光院の会計顧問を務める会計事務所へ訪問し、別団体による寺院所有のアセット管理を具体的に進めるための条件等についてお聞きした。

■ 新団体に関係する協議会形成に向けた活動

PJ では、公益的にアセットを活用する新団体を設立するとともに、現在関係している多くの NPO や NGO、個人による協議会を形成することで、その公益部分を社会化し、ヴィジョンを共有した「コモンズ」としての性質をもった緩やかな集合体の形成をイメージしている。その協議会を設立するための動きとして、下記の活動を行った。

1. メーリングリストの作成

寺院のアセットを活用している団体には、そのことに自覚的な団体と無自覚な団体などのばら

つきがある。そのため、まずは情報共有を行うためにアセットを活用している団体や個人、キーパーソンからなるメーリングリストを作成し、適宜情報の共有を行っている。

2. アセット活用関係者を対象とした企画の開催

12月10日に寿光院で、「お寺といっしょにまちづくり！ - 小松川市民ファーム 30年の取り組みと今後の可能性を考える -」と題した企画を開催し、これまで議論を行ってきた内容を、アセット活用団体に初めてご説明するとともに、今後の協働可能性について意見交換を行った。

参加) 江戸川子どもおんぶず、足温ネット、ほっとコミュニティえどがわ、荒川クリーンエイド・フォーラム、江戸川子ども劇場、全国川ごみネットワーク、ジュマ・ネット、認定 NPO 法人トラッソス、ことのはサポート、ゼロエミッション江戸川、ばんびーの EST、ジュレー・ラダック、千葉商科大学、泉福寺、ほか 全 32 名

3. 連続企画の開催

① 松江の家を使ったシリーズ企画「お寺といっしょにまちづくり」

12月10日の企画を受け、小規模な意見交換を行う場としてアセットの一つである「松江の家」を会場にしたシリーズ企画を 2024 年 2 月、3 月に実施した。2024 年度も引き続き開催していく。

② NGO 大学企画(かつての江戸川 NGO 大学の試験的再開)

様々な分野の NPO や NGO を通して市民が学び合い情報交換をする場となる NGO 大学を 10 年ぶりに実施した。今後も隔月を基本に実施する。

内容) 第1回 NGO 大学「市民活動を支えるお金の話」 2024 年 3 月 10 日(日)、見樹院登壇; 功能聡子さん(ARUN 代表)、佐藤隆哉さん(未来バンク理事)

3) 任意団体の設立と、法人格取得に伴う今後の予定

■ 任意団体の設立

将来的な公益財団法人の取得を目指し、一般財団法人設立に必要な拠出金と最初期の資金提供を募ることを目的とした任意団体を下記のように設立した。

名 称) コモンズで寺院アセットを活用する財団法人を設立する会

設立日) 2024 年 3 月 28 日

役 員) 大河内秀人(会長)、井筒千春、奥田裕之、青木沙織、奈良由貴、大河内秀丸、小池達也(監事)

■ 法人格取得に向けた今後の予定

<2023 年度> 3 月 28 日 「コモンズで寺院アセットを活用する財団法人を設立する会」設立

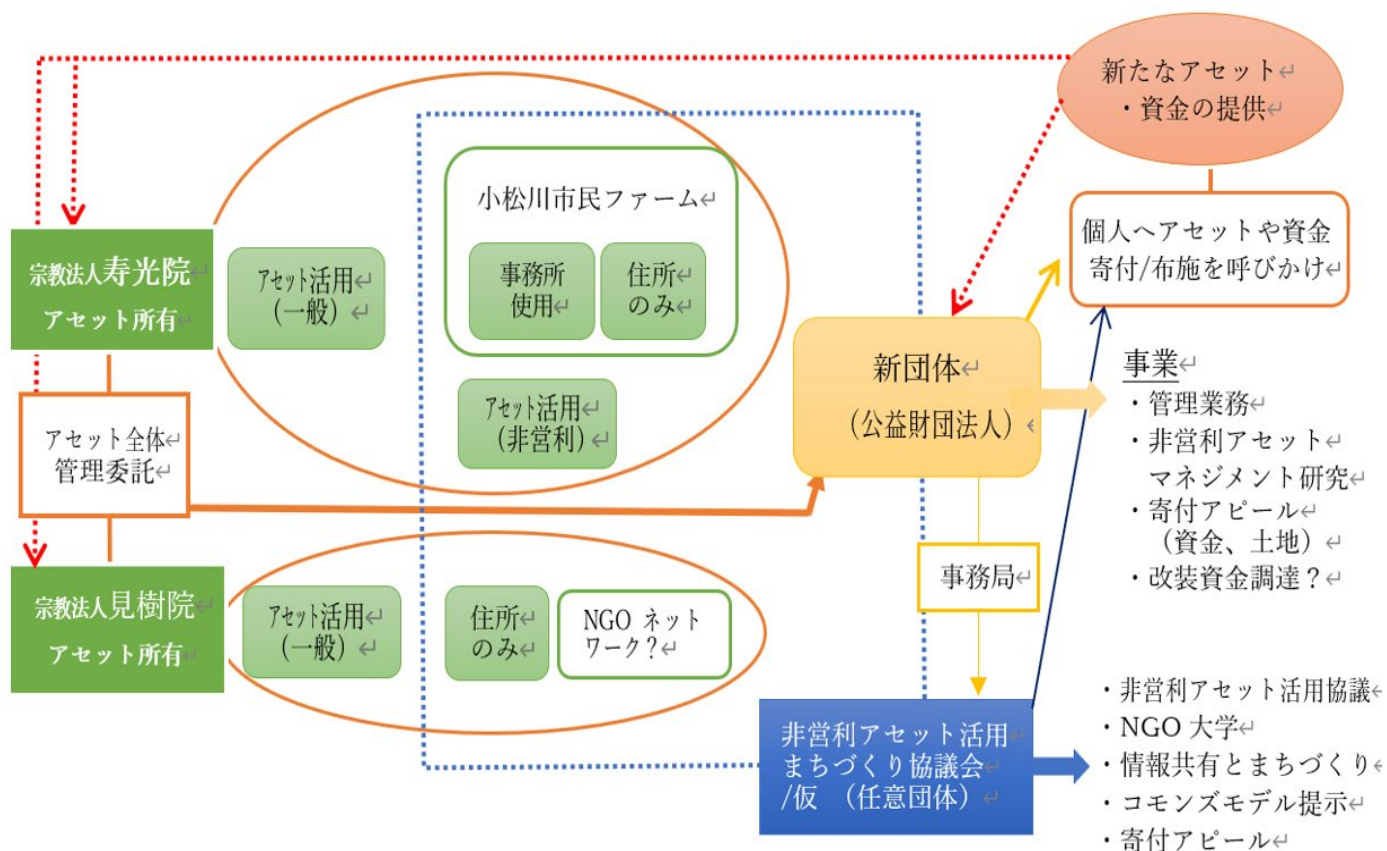
<2024 年度> 6 月～8 月 一般財団法人の設立拠出金 300 万円と寄付金のファンドレイズ
9 月 一般財団法人設立、2024 年度事業開始

※新制度における公益財団法人取得の準備

<2025 年度> 4 月 改正認定法令施行後、直ちに公益財団法人の申請を行う

※年度中 公益財団法人設立

<参考> 新団体を含む全体イメージ



*寿光院、見樹院

現在は所有アセットの一部を、社会的活動をしている団体へ有償・廉価・無償で提供している、
 今後はその管理を新団体へ委託する。

*新団体(公益財団法人)

お寺からアセットの運営・管理を受託し、継続的に、適切な形で公益活動をしている団体等にそれらを提供する。また新たな社会的なアセット等の受け皿となる。

*任意団体(協議会)

お寺、新団体、アセット活用している団体からなるネットワーク組織、まちづくりの視点でアセットの公益活用に関する検討、相互の学び合い、社会提案等を行う。

4, 今後の活動について

第1期では、今回の取り組みの前提となる30年間の活動の経緯と現状、そして複数の視点における公益性と今後の可能性について調査と整理を行った。その結果、当初に想定していた以上の公益的な可能性があることが分かり、構想全体の修正を行った。

それを受けた第2期では、引き続き調査活動とそれを受けた議論を深めると同時に、具体的に社会の新しい仕組みとしていくための諸準備を行い、任意団体の設立、協議会に向けた企画の

実施を行うことができた。また、多方面への聞き取りを行う中で、2024 年度国会で予定されている公益法人法改正の方向性と、当プロジェクトで考えてきたことの親和性が高いことが分かり、今後多くの専門家や協力者からの支援を受けることができる可能性も出てきた。

プロジェクトの最終年となる第 3 期では、前半で一般財団法人設立に必要な拠出金と当初活動に必要な資金を集めるファンドレイズを行い 9 月に一般財団法人を設立し、小規模に一般財団法人の 2024 年度事業をスタートさせる。同時に、国会での議論を検証しながら、2025 年 4 月に予定されている公益法人改正が行われるタイミングで、公益財団法人の申請を行う。

また、新財団法人や寺院を含む、これまで関係してきた団体や個人からなる協議会を設立し、アセットが中心となる公益的活用について全体で議論・決定する機能を持たせることで、新財団を含む全体が一つの市民活動に基づくコモンズとなるような、持続可能なモデルを形成する。

このプロジェクトの大きな特徴は、広がりを持つ市民活動の基盤に宗教団体とその理念が大きく反映されている部分にある。これまで議論してきた今後の日本社会における宗教関連施設や仏教の在り方の一つの可能性、市民活動と宗教団体の公益的な協働の可能性などについては、宗教的な視点からも言語化し、助成期間内に宗教者と市民などに提示していきたい。

以上

会計報告書

被助成者：大河内秀人 印

コード番号:

コモンズの共有資産として活用する「寺院所有アセット」モデルPJ

(単位:円)

＜収入の部＞

項目	予算	決算	備考
1. 助成金	2,000,000	2,001,678	1,678円はPJ負担
2. 預金利息	0	0	
合計	2,000,000	2,001,678	

＜支出の部＞

費目		予算	決算	内訳・備考
1. 人件費	協力者謝金	1,800,000	1,900,000	奥田、奈良、青木(荒田)、小池、井筒
	補助者謝金	100,000	60,000	未来バンク(佐藤)、ARUN(功能)、渡部
2. 旅費	国内	65,000	18,528	奥田、渡辺 ※一部のみ
	国外			
3. 機械・器具 備品費/文献費				
4. 研究委託費				
5. 会議費				
6. 資料費		10,000	11,600	川北秀人氏書籍(8/1購入分)
7. 印刷・複写費				
8. 交通・通信費		10,000	0	PJ内で負担
9. 消耗品費				
10. 雑費		15,000	11,550	振込手数料
合計				

2,000,000

2,001,678

(2023年6月1日～2024年3月31日)

* 振込期日は2024/4/22まで